

**meito**

おいしさ、たのしさ、健康。

東証プライム市場・名証プレミア市場  
証券コード：2207




# 決算説明資料

名糖産業株式会社

2022年11月15日



目次

-  1 会社概要 ..... P. 2
-  2 成長戦略 ..... P.16
-  3 2023年3月期 第2四半期決算概要 ..... P.24
- 参考資料 セグメント別事業紹介（22.3期実績） ..... P.34



1

# 会社概要



社名	名糖産業株式会社 (Meito Sangyo Co., Ltd.)	
本社	愛知県名古屋市西区笹塚町二丁目41番地	
代表者	代表取締役社長 三矢 益夫	
設立	1945年2月	
資本金	13億1,325万円 (2022年3月期末)	
証券コード	2207 (東京証券取引所 プライム市場、名古屋証券取引所 プレミア市場)	
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 医薬品、医薬部外品、医療用具、動物用医薬品、化粧品、その他化成品の製造および販売</li> <li>■ 菓子、飲料、調味食品、食品添加物、その他食品の製造および販売</li> <li>■ ゴルフ場の建設・経営</li> <li>■ 不動産の賃貸</li> <li>■ 前各号に関連および付随する一切の事業</li> </ul>	
連結子会社	株式会社エースペーカリー (愛知県小牧市)	- バウムクーヘン・ゼリーの製造・販売
	名糖乳業株式会社 (福岡県飯塚市)	- 冷菓の製造・販売
	プリンスゴルフ株式会社 (福岡県宮若市)	- パブリックゴルフ場
持分法適用関連会社	名糖アダムス株式会社 (愛知県清須市)	- チューインガムの製造
従業員数 (2022年3月期末)	連結：547名 単体：362名	

## 企業理念

食品と化成品の関連分野をベースとしておいしさ、たのしさ、健康を追求し  
お客様に喜ばれる商品を提供します。

## 経営基本姿勢

1 お客様重視の経営

2 迅速、確実な仕事とたゆまぬ  
創意工夫に基づく独自性のある経営

3 人間性を尊重し、能力、意欲を  
最大限に発揮する活力ある経営

## 企業行動憲章

### 1 — 安全・安心で高品質な商品の提供

私たちは、おいしさ、たのしさ、健康を追求し、お客様にとって安全・安心で、高品質な商品やサービスを提供します。

### 2 — 法令等の遵守と公正・透明な事業活動

私たちは、国内外の法令・社内規則を遵守し、社会的良識をもって行動します。また、自由競争に基づく公正・透明な事業活動を行います。

### 3 — 社会とのコミュニケーション

私たちは、広く社会とのコミュニケーションをはかり、企業情報を正確かつ公正に適時開示します。

### 4 — 情報管理

私たちは、業務上知りえた機密情報・個人情報などを厳重に管理し、不正使用は行いません。

### 5 — 環境保全

私たちは、環境保全・省資源・省エネルギーに取組み、環境にやさしい事業活動を進めます。

### 6 — 社会貢献

私たちは、よき企業市民として社会の経済・文化発展に貢献します。

### 7 — 働きやすい職場環境

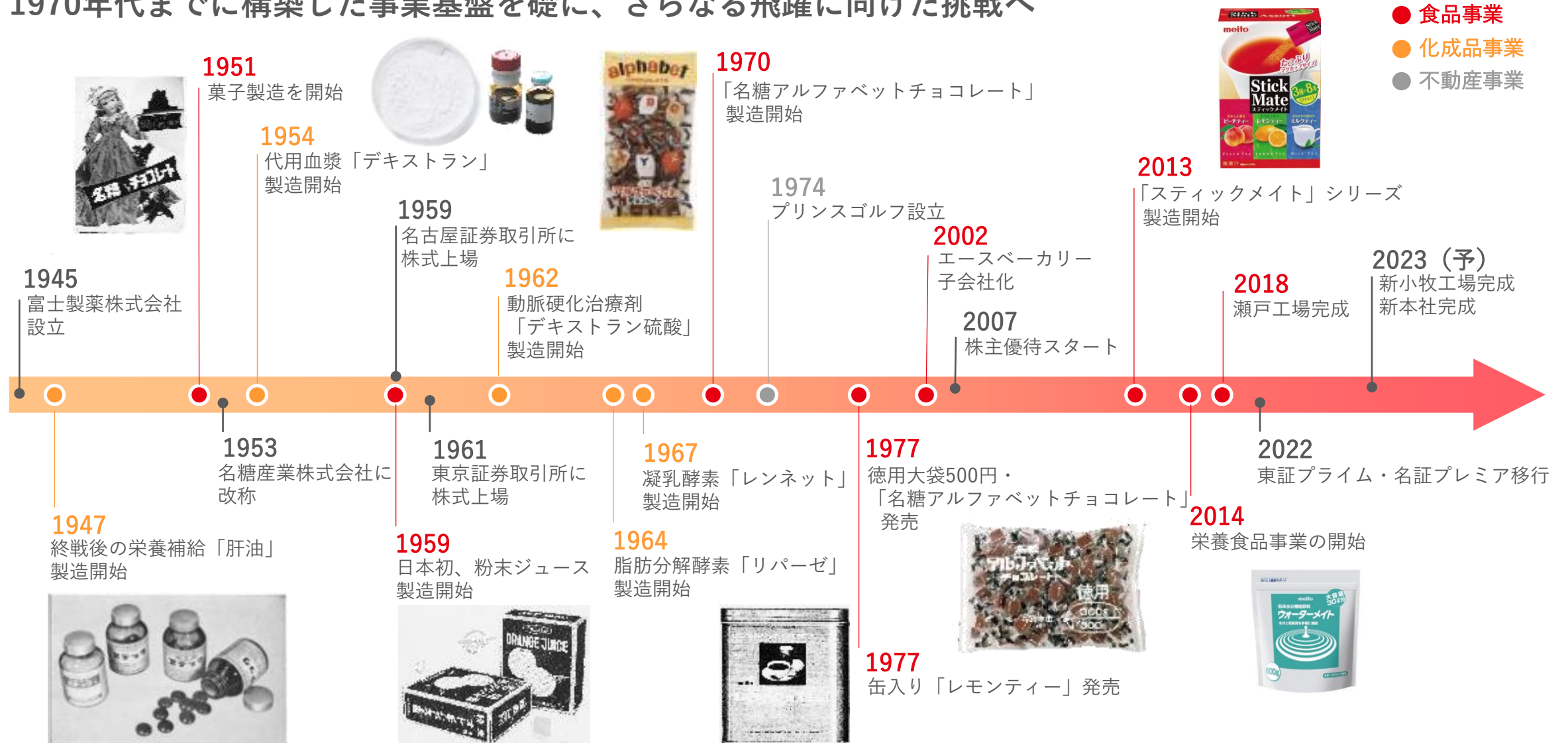
私たちは、人間性を尊重し、健康的で安全な働きやすい職場環境を確保します。

### 8 — 新しい技術への挑戦

私たちは、常に新しい技術に挑戦し、お客様の満足が得られる商品作りを目指します。

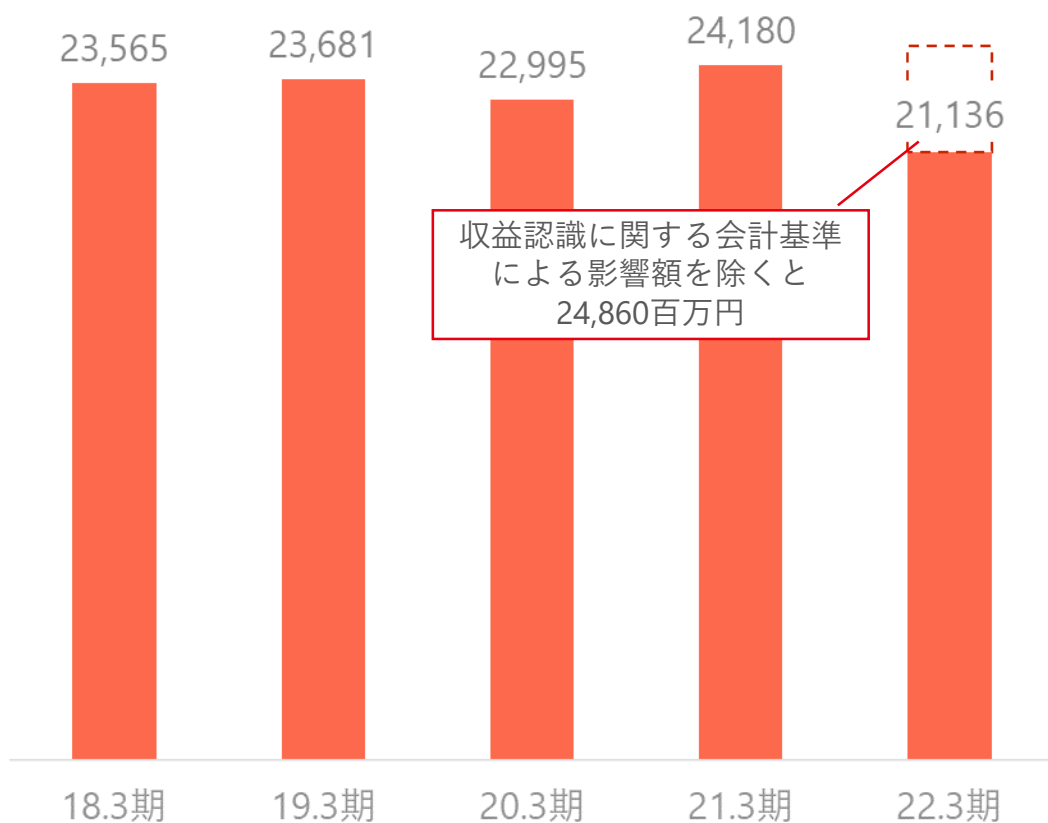
1970年代までに構築した事業基盤を礎に、さらなる飛躍に向けた挑戦へ

- 食品事業
- 化成事業
- 不動産事業



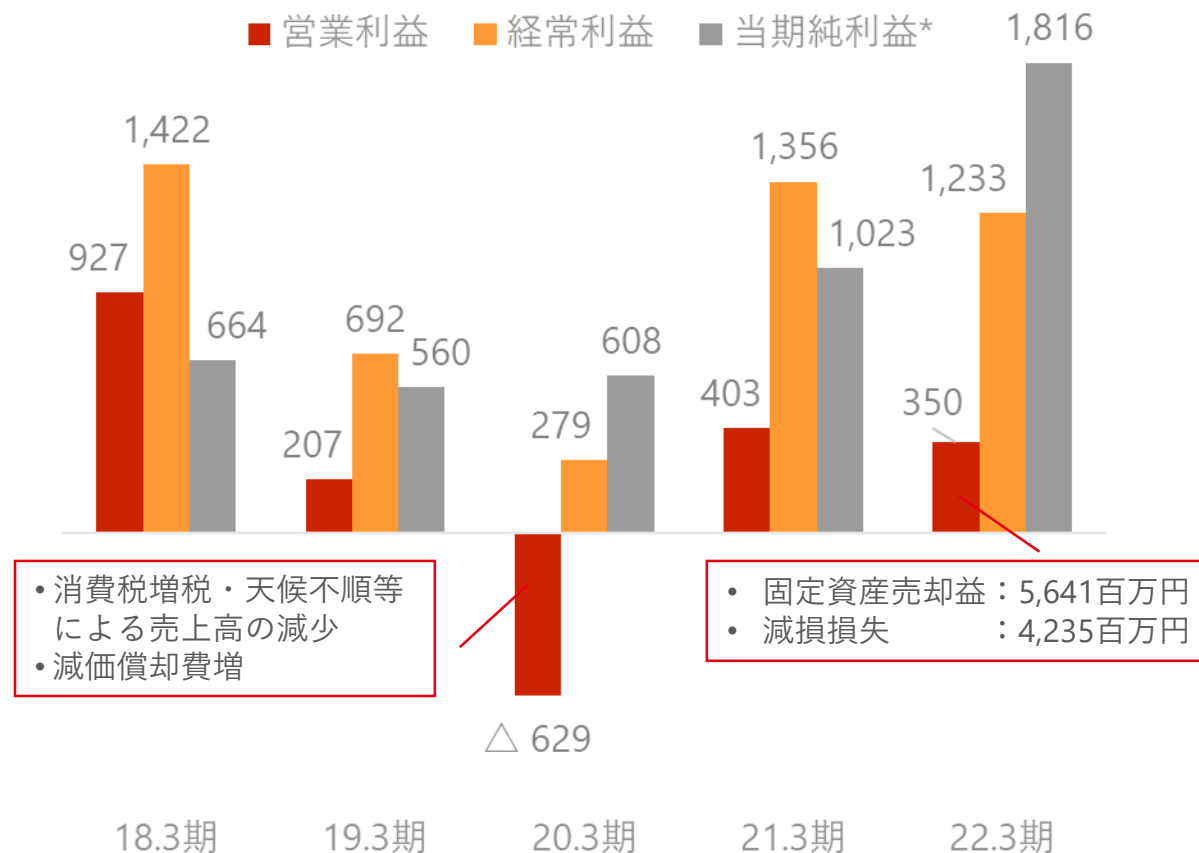
コロナ禍による事業環境の変化に対応し、収益を確保

売上高 (百万円)



\* 21.3期までは収益認識基準前の数値

利益 (百万円)



\*親会社株主に帰属する当期純利益

チョコレートを始めとする食品事業と化成品事業を主力とする

食品事業

菓子部門

- チョコレート類  
大袋チョコ、エアインチョコ ほか
- キャンディ類
- バウムクーヘン類
- ゼリー類 ほか



粉末飲料部門

- レモンティー
- スティックメイト ほか



冷蔵部門

- チョコボール、ベレレ ほか



栄養食品部門

- おいしく健康応援チョコレート ほか

化成品事業

酵素部門

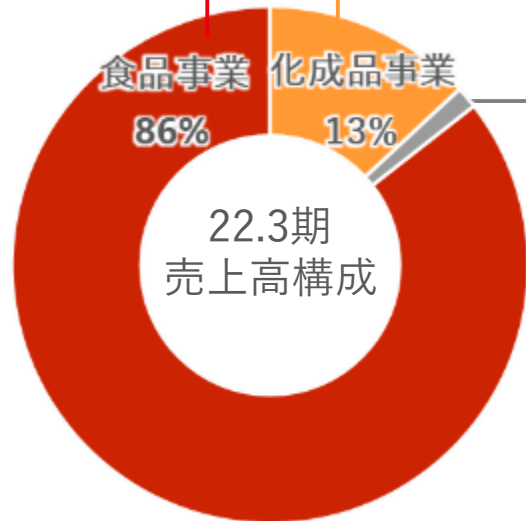
- レンネット  
チーズ用凝乳酵素
- リパーゼ  
脂肪分解酵素

薬品部門

- デキストラン  
血漿増量剤・血流改善剤等
- デキストランマグネタイト  
MRI造影剤・医療機器材料等

不動産事業

- ゴルフ場の経営・不動産賃貸



不動産事業  
1%



## 全国の営業・生産・研究開発拠点が連携し、名糖産業の理念を实践

-  本社

---

-  支店 4カ所

---

-  化成品営業部 1カ所

---

-  研究所／食品開発部 5カ所










---

-  工場 6カ所

---

-  子会社 3カ所



- 1  東京支店
- 2  化成品営業部
- 3  東京研究所  
 八王子工場
- 4  本社  
 食品開発部  
 名古屋支店  
 名古屋工場
- 5  小牧工場  
 エースベーカーリー
- 6  瀬戸工場  
 食品開発部
- 7  名古屋研究所  
 枇杷島工場
- 8  大阪支店
- 9  福岡支店  
 福岡工場
- 10  名糖乳業
- 11  プリンスゴルフ



本社



八王子工場



瀬戸工場



小牧工場



名古屋工場



枇杷島工場



福岡工場

1

先駆的な取り組みにより  
構築した事業基盤

2

一貫生産による  
こだわりの品質と展開力

3

グローバルニッチトップ

4

3つの事業のバランス経営

独創とチャレンジが、事業化や業界標準の確立に貢献



デキストランマグネタイトの工場生産開始

- 2001年にはMRI用肝臓造影剤が欧州で認可され商業生産を開始する

1992年



徳用大袋チョコ発売

- 大袋市場の嚆矢となる

1977年



微生物レンネットを世界で初めて開発

- 動物レンネットの代替となる微生物レンネット

1964年

粉末ジュースを発売

- 砂糖に果汁、酸味料、香料、着色料を配合した画期的な商品



1959年

中身の見える個別「捻り包装」

- 時代を先取りし、製菓業界に包装革命を起こす



代用血漿デキストラン工業化に成功

- 原薬、医薬品・食品添加物、化粧品、工業用途など幅広く展開



1953年

口溶けや滑らかさの食感、味づくりの決め手となる生地で差別化



一次加工から、こだわりの一貫生産

一貫生産  
ならではの  
展開力により、  
開発に成功

- 気泡を混ぜたチョコレート「エアインチョコ」



- チョコレートの技術を生かした「栄養食品」

低GI\*の糖質「還元麦芽糖」を主原料としたチョコレート



※GI：食後血糖値の上昇度合

世界屈指のメーカーとして、成長軌道を歩む化成品事業



デキストラン  
デキストラン誘導体

🇯🇵 日本初

- 代用血漿デキストラン・MRI造影剤用途としてのデキストランマグネタイトの**工業生産**に成功

🇯🇵 日本唯一

- **大規模**な工業生産



チーズ用凝乳酵素  
微生物レンネット

🌐 世界初

- 動物レンネットの代替となる微生物レンネットを**開発**

🌐 世界唯一

- 動物レンネットと同等品質の次世代微生物レンネットを**開発**



脂質関連酵素  
リパーゼ・ホスホリパーゼ

🇯🇵 日本初

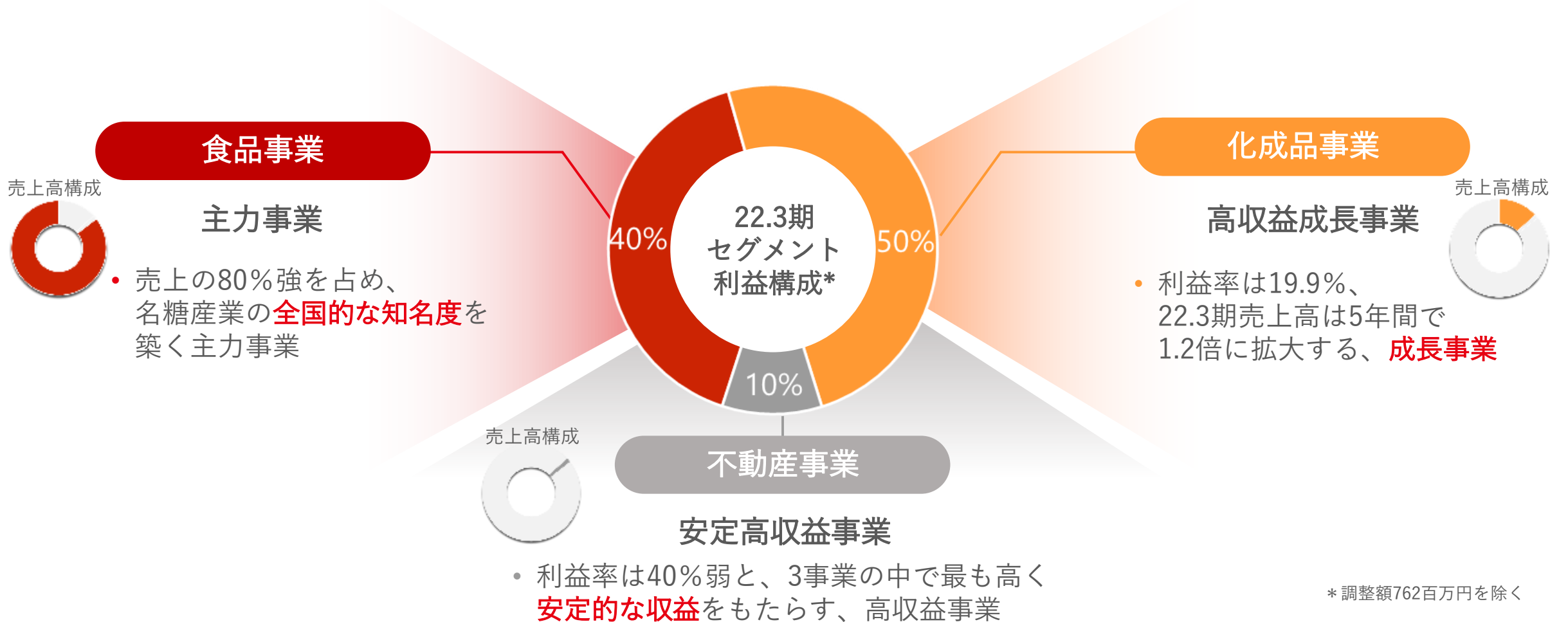
- 日本で初めてリパーゼの大規模な**工業生産**を開始

🇯🇵 日本唯一

- ホスファチジルセリン\*向けのホスホリパーゼDを**工業生産**

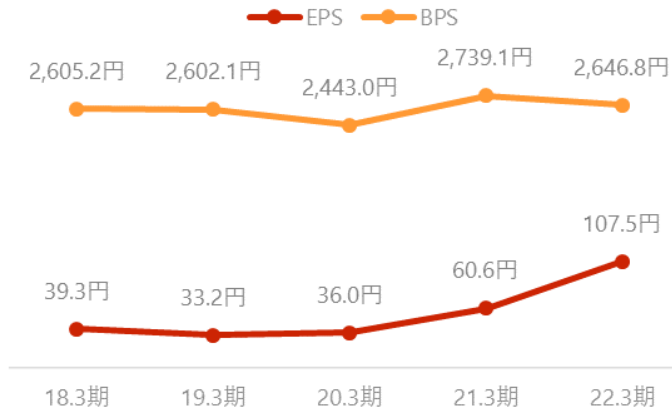
※ホスファチジルセリン：脳機能改善やストレス対策のサプリメント

事業領域が異なる3つのセグメントが補完し合い、景気変動の影響を回避した安定利益を確保

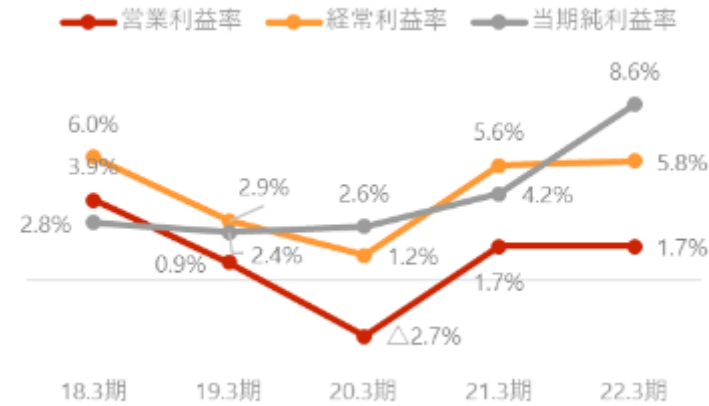


\* 調整額762百万円を除く

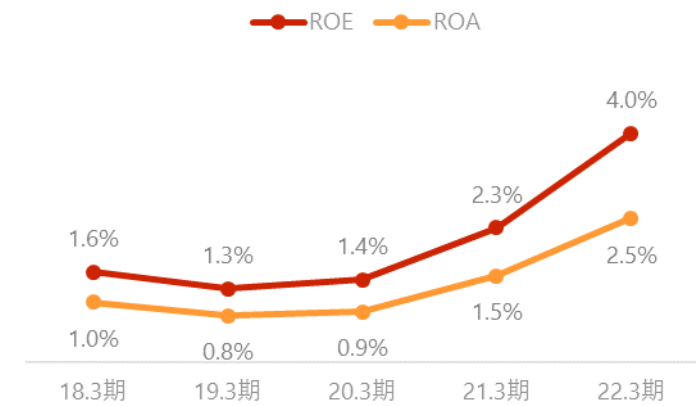
## EPS・BPS (円)



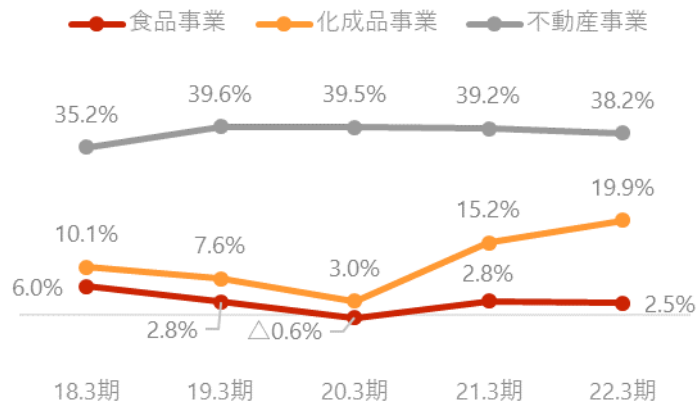
## 利益率 (%)



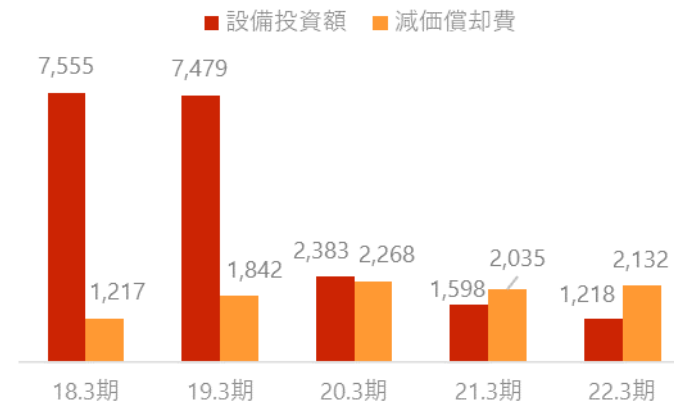
## ROE・ROA (%)



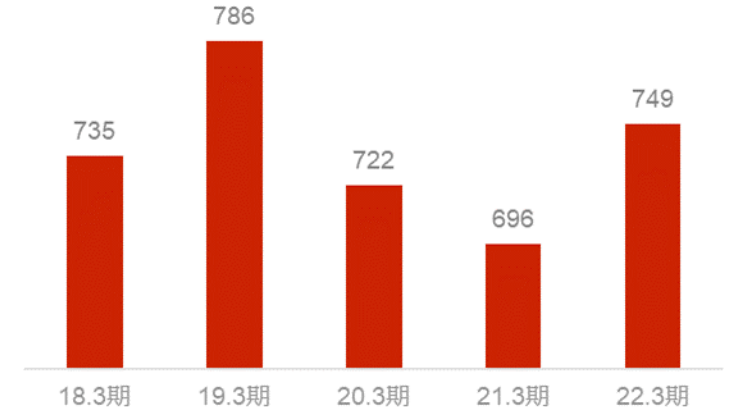
## セグメント利益率 (%)



## 設備投資額・減価償却費 (百万円)



## 研究開発費 (百万円)



2030年度を期限とするSDGs目標

マテリアリティ		KPI (2030年度期限)	
環境負荷削減		食品廃棄物	食品廃棄物（生産量原単位）を30%削減（2020年度比）
		CO <sub>2</sub> 排出量	CO <sub>2</sub> 排出量（売上高原単位）を25%削減（2020年度比）
食の安全安心		第三者認証	FSSC22000（食品）、ハラール・コーシャ（化成品）の維持
		健康貢献	健康生活、高齢社会に応じた商品開発の継続
人権・ダイバーシティの推進		女性活躍	女性管理職比率を10%以上
		男性の育児休業	男性の育児休業の取得を100%
		エンゲージメント	ワーク・エンゲージメントを50%以上改善(2020年度比)
		人権・ダイバーシティ教育	全社員への教育
社会貢献活動		カカオ豆の生産地支援	カカオ豆生産者へアルファベットチョコレートの売上の一部を寄付
		地域貢献	直売店の運営、児童養護施設などへのチョコレート寄贈
ガバナンス		コーポレートガバナンス・コードに基づく強化	公正な経営、リスク軽減、ステークホルダーとの信頼構築



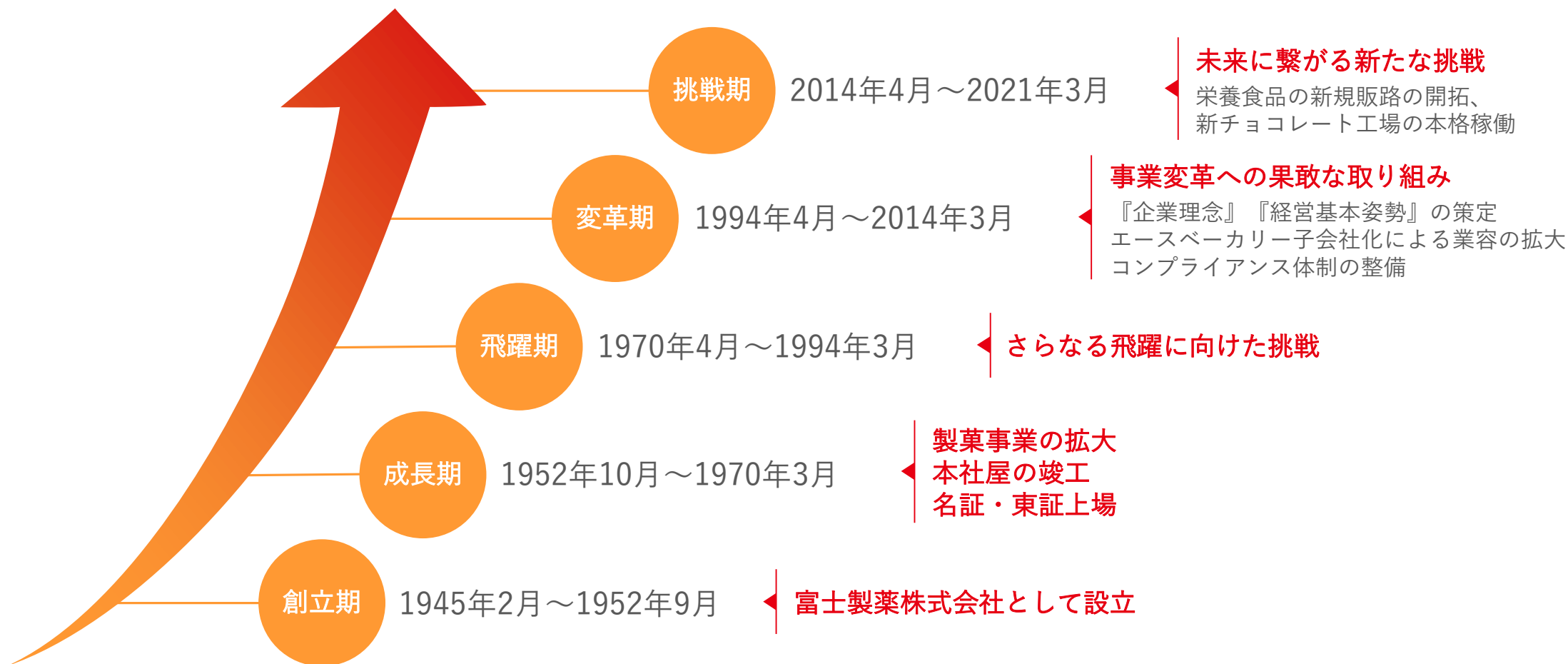
2

# 成長戦略

MEITO CHALLENGE 2023



# MEITO CHALLENGE 2023



スローガン

## Challenge & Change

チャレンジ精神と変化をもたらす行動力

## 原点回帰

企業理念・経営基本姿勢・企業行動憲章の徹底

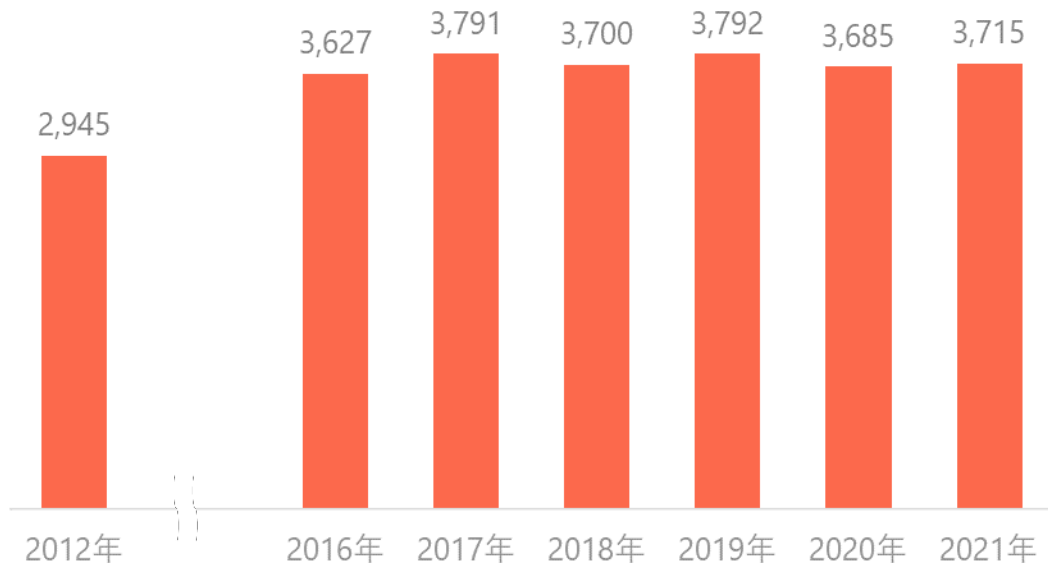
コンセプト

- 更なるブランド価値の向上と高品質な商品の提供により利益創出構造を確保します
- 組織風土を改革しChallenge & Changeの新しい組織文化を生み出します
- SDGsを意識した活動を含めステークホルダーの満足度を高める企業活動を展開します

日本のチョコレート生産額は、約3,700億円規模で堅調に推移

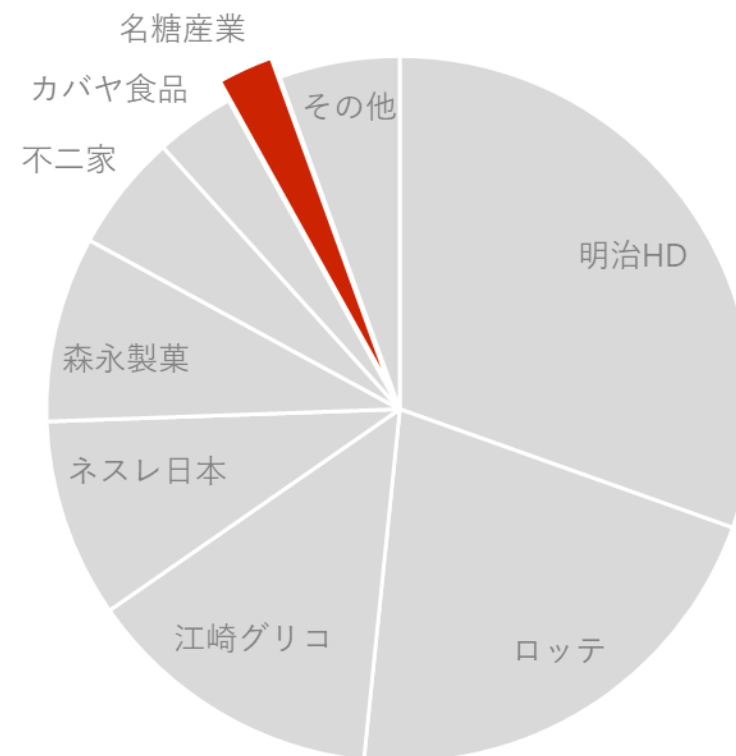
日本のチョコレート生産額 (億円)

- チョコレート菓子を中心に、ロングセラーブランド徳用タイプの需要が増加
- 認知度の高いブランドが優位の状況が続く
- 今後は、健康キーワード市場の伸びが期待される



出所) 日本チョコレート・ココア協会

生産金額ベースのシェア



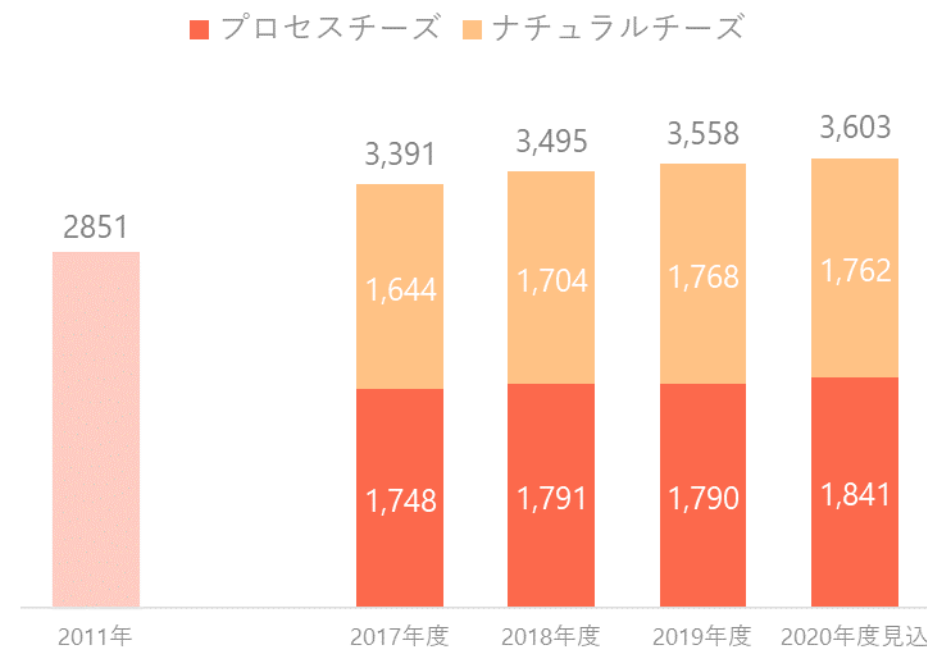
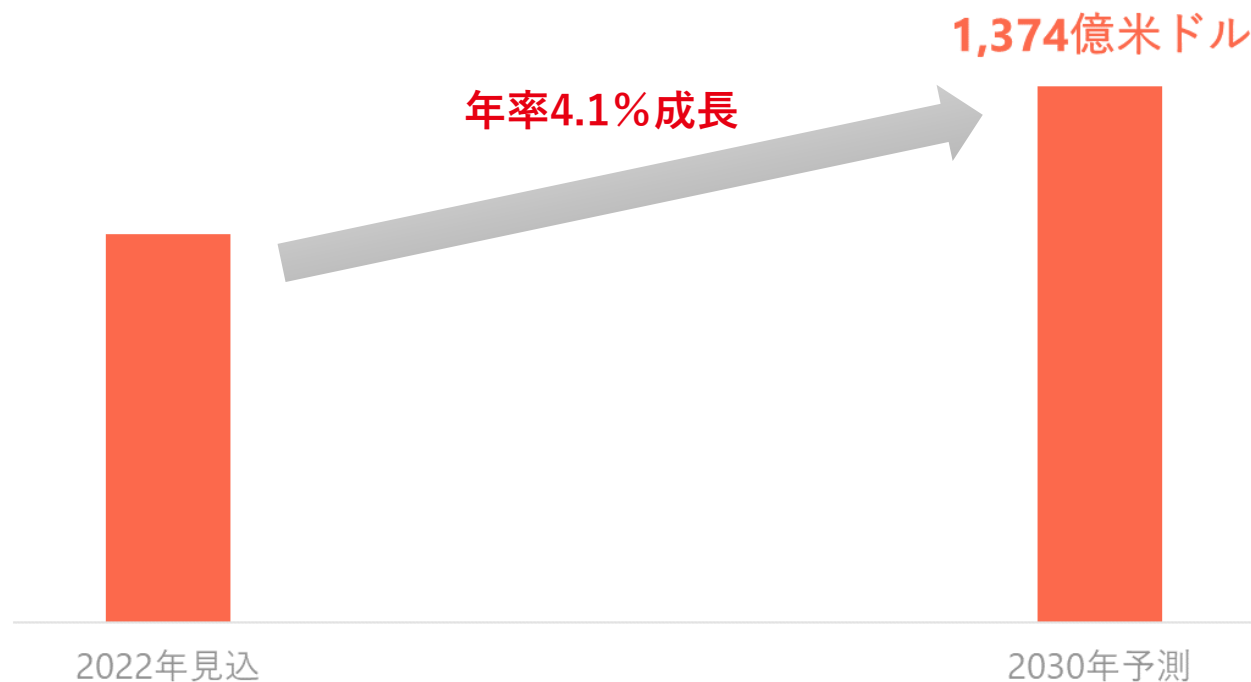
出所) 富士経済「2022年 食品マーケティング便覧」より当社作成  
 \* 他社数値は2020年見込み、当社売上は21.3期実績

### チーズの市場規模は2030年に1,374億米ドルに達すると予測

- ナチュラルチーズを中心に、世界規模で安定的な成長が見込まれる
- 外食産業でのチーズの消費量の増加と、スナックチーズとしての消費量の増加がけん引

#### 世界チーズ市場予測

#### 国内チーズ市場 (億円)

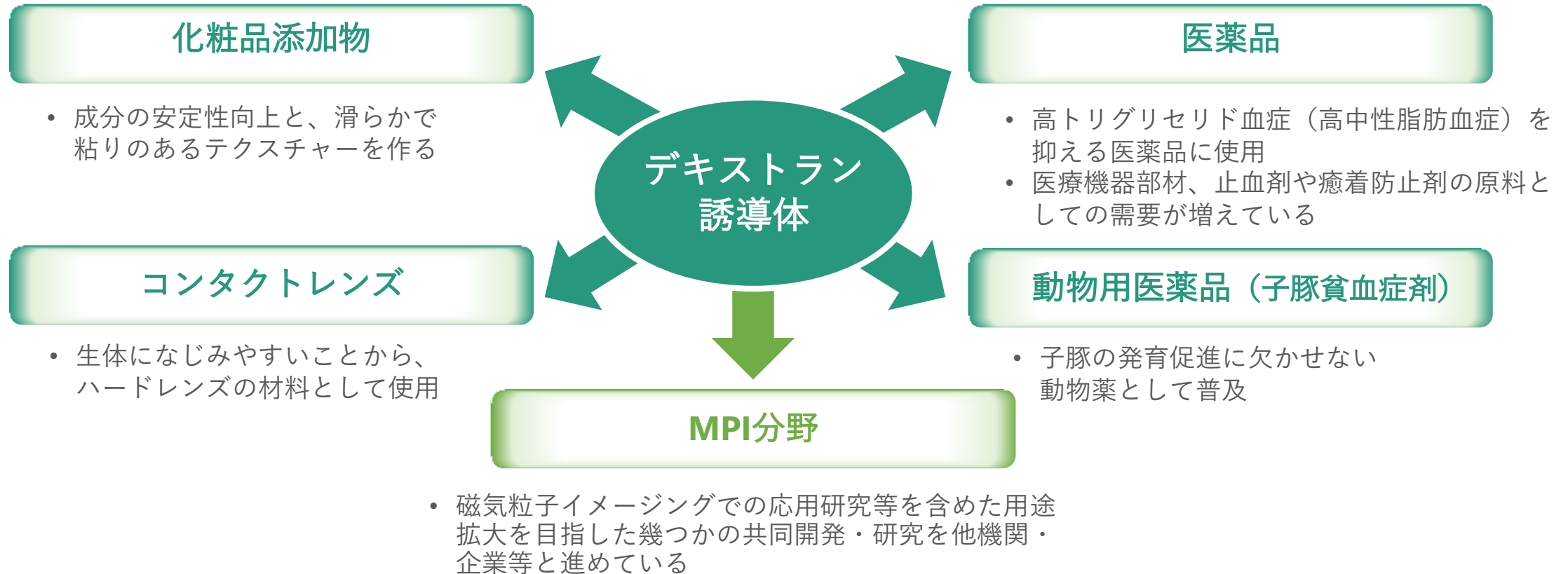


出所) Report Ocean 「世界のチーズ市場規模、シェア、傾向分析、機会2030」

出所) TPCマーケティングリサーチ

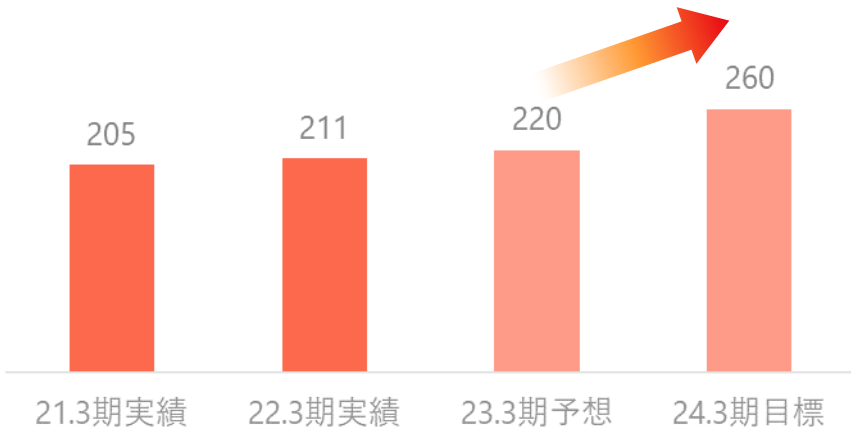
デキストラン誘導体の用途開発による潜在成長性

デキストラン誘導体の用途開発



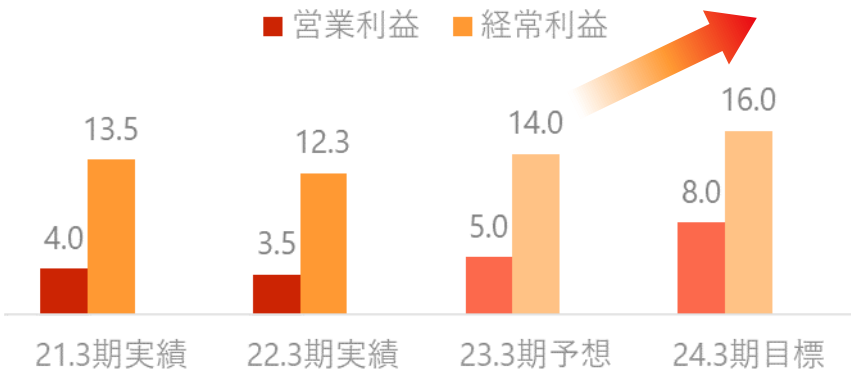
## 売上・利益の目標

売上高 (億円)



\* 収益認識基準後の数値

利益 (億円)



### ① ブランド強化

#### 【食品事業】

- ・ 中核ブランドへの戦略的な経営資源投入による売上拡大
- ・ 新工場で製造する新規ブランドの売上創出

#### 【化成品事業】

- ・ 新規用途開発を始めとする高付加価値製品の販売強化

### ② 工場の生産性・品質の向上

#### 【食品事業】

- ・ 設備運用・工程システム最適化による製造原価率の低減

#### 【化成品事業】

- ・ 製造技術の最適化による生産性の向上と多様化する品質・性能要求への対応

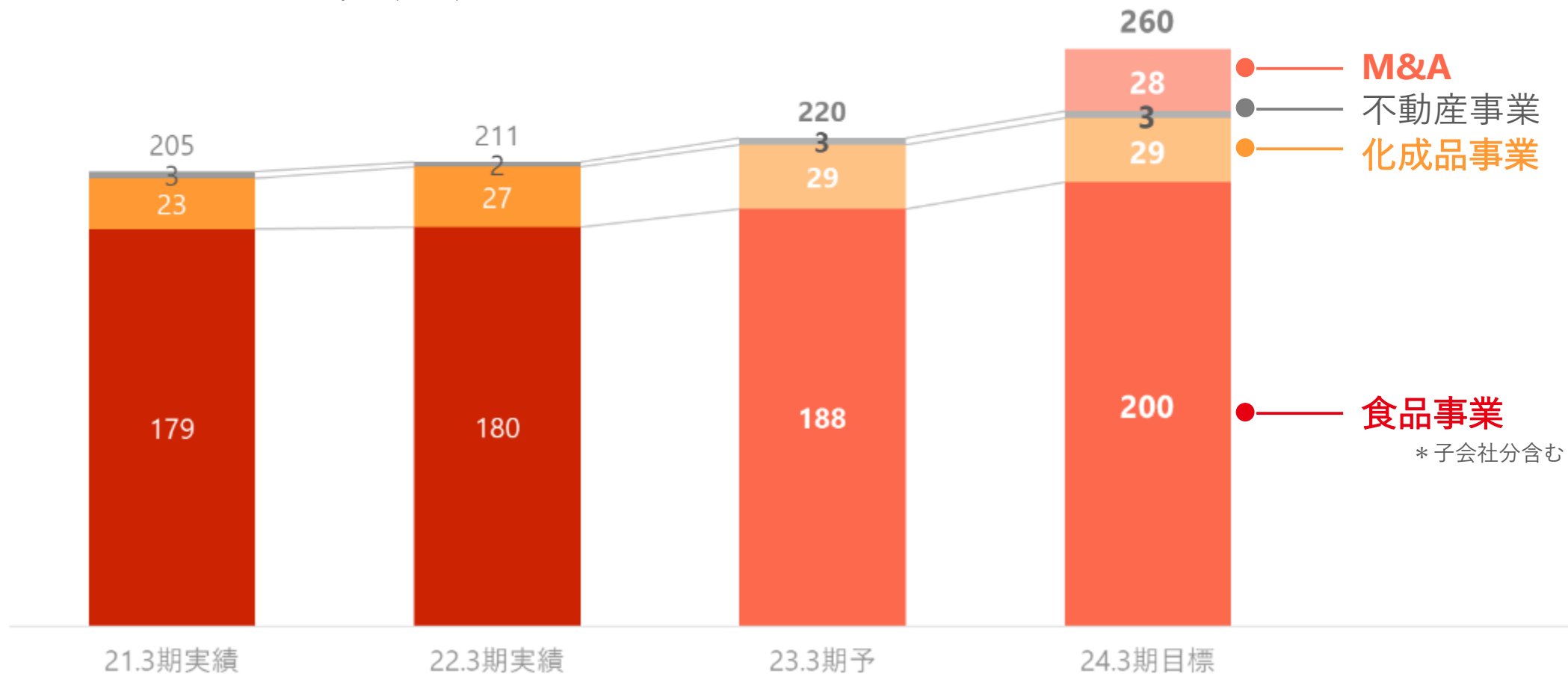
### ③ 組織・人事活性化

- ・ 従業員満足度・働きがいの向上を図る制度の構築
- ・ 多様な人材活用の推進

### ④ M & A 等による事業拡張

- ・ 業容拡大・利益創出に向けたM&Aへのチャレンジ
- ・ グループ会社間のシナジー強化

## ■ 事業別売上目標（億円）



\* 収益認識基準後の数値  
\* 億円未満は切り捨て



# 2023年3月期 第2四半期決算概要



増収ながら、原材料価格やエネルギーコストの高騰などにより、営業減益

全社

売上高：前年同期比**5.5%**増収の**10,278**百万円

- 営業利益：原材料価格やエネルギーコストの高騰により、47.6%減の65百万円
- 経常利益：受取配当金が増加したが、営業利益が減少したことにより、3.9%減の652百万円
- 四半期純利益：投資有価証券評価損115百万円、減損損失98百万円の計上などにより、91.0%減の398百万円  
(前年同期は固定資産売却益5,641百万円を計上)

食品事業

**4.4%**増収、**42.6%**営業減益

- テレビCMなどの販売促進活動を展開したことにより、主力の菓子部門や冷菓部門が増収
- チョコレート類は、新商品を投入し品揃えの充実をはかることにより、ファミリーサイズの商品が順調に売上を伸ばした
- エアインチョコの「ぷくぷくたい」やキャラクターとコラボした新商品「ちびさく」などのポケットサイズの商品も好調に推移した

化成品事業

**13.4%**増収、**15.3%**の営業減益

- 酵素部門は海外を主な市場としており、円安の追い風を受けるなかでグローバルな営業活動を展開した結果、「レンネット」「リパーゼ」が海外市場を中心に売上を拡大し、増収
- 薬品部門は「デキストランマグネタイト」の売上を大きく伸ばし、増収

不動産事業

**3.9%**減収、**4.4%**の営業減益

- 賃貸事務所を2021年7月に売却したことにより、減収

(単位：百万円)

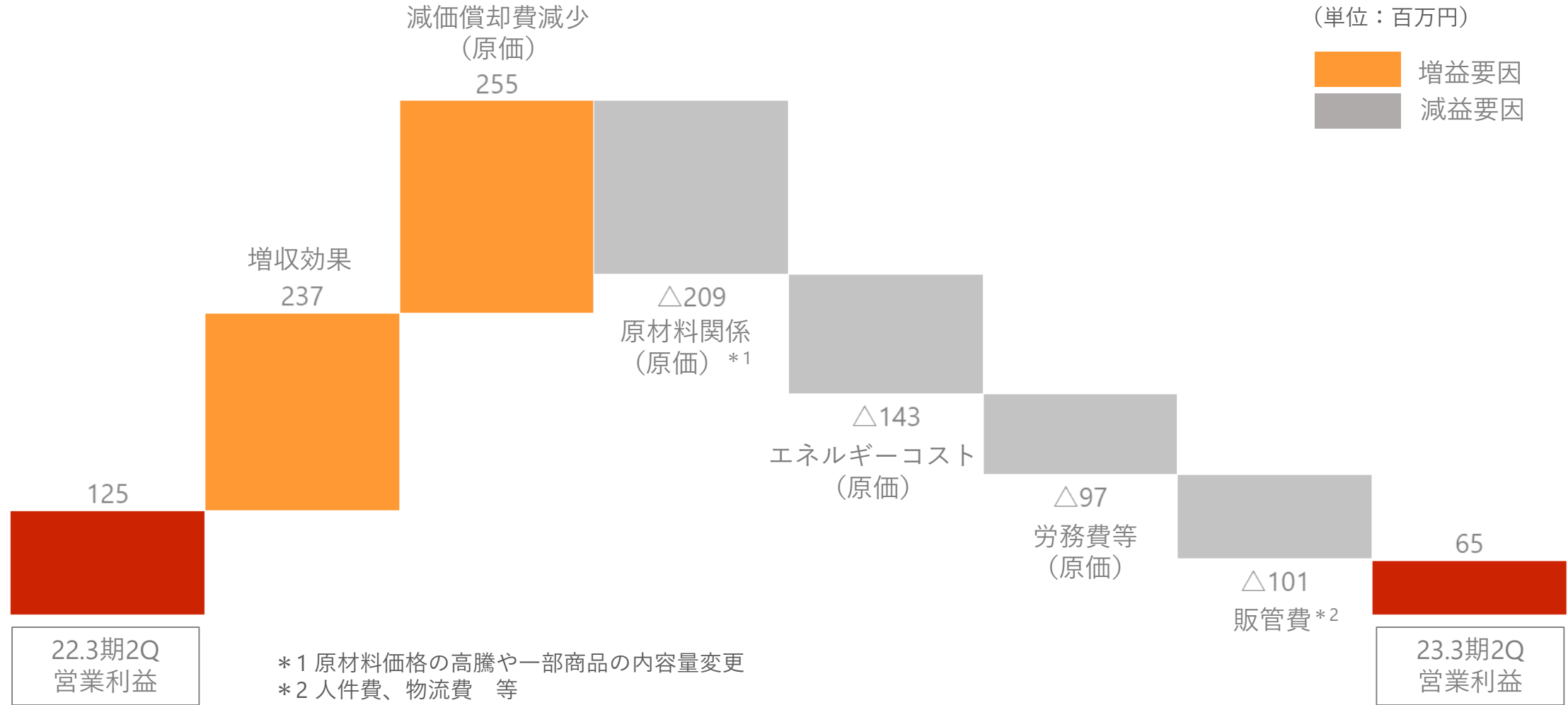
	22.3期2Q	23.3期2Q		
	実績	実績	前期比	増減
売上高	9,741	10,278	5.5%	537
食品事業	8,239	8,602	4.4%	363
化成品事業	1,351	1,532	13.4%	180
不動産事業	149	144	△3.9%	△5
売上総利益	2,357	2,446	3.8%	88
売上総利益率	24.2%	23.8%	—	—
販売管理費	2,231	2,380	6.7%	148
営業利益	125	65	△47.6%	△59
営業利益率	1.3%	0.6%	—	—
受取配当金	407	454	11.5%	46
経常利益	679	652	△3.9%	△26
経常利益率	7.0%	6.4%	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,410	398	△91.0%	△4,011
四半期純利益率	45.3%	3.9%	—	—

(単位：百万円)

売上高	22.3期2Q		23.3期2Q			
	実績	構成比	実績	前年同期比	増減	構成比
食品事業	8,239	84.6%	8,602	4.4%	363	83.7%
化成品事業	1,351	13.9%	1,532	13.4%	180	14.9%
不動産事業	149	1.5%	144	△3.9%	△5	1.4%
合計	9,741	100.0%	10,278	5.5%	537	100.0%

セグメント利益	22.3期2Q		23.3期2Q			
	実績	構成比	実績	前年同期比	増減	構成比
食品事業	156	29.9%	89	△42.6%	△66	22.0%
化成品事業	310	59.1%	262	△15.3%	△47	64.4%
不動産事業	58	11.0%	55	△4.4%	△2	13.6%
小計	525	100.0%	408	△22.2%	△116	100.0%
調整額	△399		△342	-	-	-
合計	125		65	△47.6%	△59	-

増収ながら、原材料価格やエネルギーコストの高騰などにより、営業減益



貸借対照表 (百万円)

	22.3期末	23.3期2Q末	
	実績	実績	増減
<b>流動資産</b>	<b>18,154</b>	<b>16,482</b>	<b>△ 1,671</b>
現預金	4,878	4,985	106
受取手形及び売掛金	4,690	4,199	△ 491
有価証券	5,649	3,399	△ 2,250 *1
商品及び製品	1,256	1,577	321
<b>固定資産</b>	<b>52,713</b>	<b>53,735</b>	<b>1,022</b>
有形固定資産	17,132	17,982	849
投資有価証券	35,337	35,507	170
<b>流動負債</b>	<b>7,632</b>	<b>6,274</b>	<b>△ 1,358</b>
支払手形及び買掛金	2,366	3,035	669
長期（1年以内）借入金	765	765	-
未払法人税等	1,568	59	△ 1,508 *2
<b>固定負債</b>	<b>18,521</b>	<b>18,568</b>	<b>47</b>
長期借入金	10,610	10,227	△ 382
繰延税金負債	4,506	4,871	364
<b>純資産</b>	<b>44,713</b>	<b>45,374</b>	<b>661</b>
<b>負債純資産</b>	<b>70,867</b>	<b>70,218</b>	<b>△ 649</b>

キャッシュ・フロー計算書 (百万円)

	22.3期2Q末	23.3期2Q末	
	実績	実績	増減
営業CF	1,171	△ 120	△ 1,292 *3
投資CF	1,395	725	△ 669
財務CF	△ 1,116	△ 698	417
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	1,450	△ 93	△ 1,543 *3
期首残高	5,045	5,478	433
四半期末残高	6,496	5,385	△ 1,110

\* 1 償還等

\* 2 前期末は府中ビル売却に伴い未払法人税増

\* 3 法人税などの支払い

## 食品事業の施策

### 1. アルファベットブランドの活性化

- 需要期（10月）に地域を絞ってテレビCM実施

### 2. スティックメイトブランドの活性化

- 需要期（11月）に地域を絞ってテレビCM実施

### 3. 小物チョコの定番増

- 安定した売上確保のため小物チョコレートの市場での定番率アップを目指す

### 4. レモンティーガゼット袋の売上確保

- 消費喚起のため12月よりクローズドキャンペーンを実施



【公式】meitoアルファベットチョコレートCM



【公式】meitoスティックメイトCM

## 化成品事業の施策

### 1. 酵素部門－海外市場での展開を強化

- 食品用酵素類の米国でのGRAS認証取得の推進
- 欧州の食品規制への登録

### 2. 薬品部門

- 売上増への対応として、増員及び設備導入による増産体制の構築に取り組む

(単位：百万円)

	22.3期	23.3期		
	実績	予想	前年同期比	増減
売上高	21,136	22,000	4.1%	864
営業利益	350	500	42.8%	150
営業利益率	1.7%	2.3%		
経常利益	1,233	1,400	13.5%	167
経常利益率	5.8%	6.4%		
親会社株主に帰属する当期純利益	1,816	1,100	△39.4%	△716
当期純利益率	8.6%	5.0%		
EPS	107.5円	65.1円	△39.4%	△42円
一株配当	26円	26円	—	—
配当性向	24.2%	39.9%	—	—

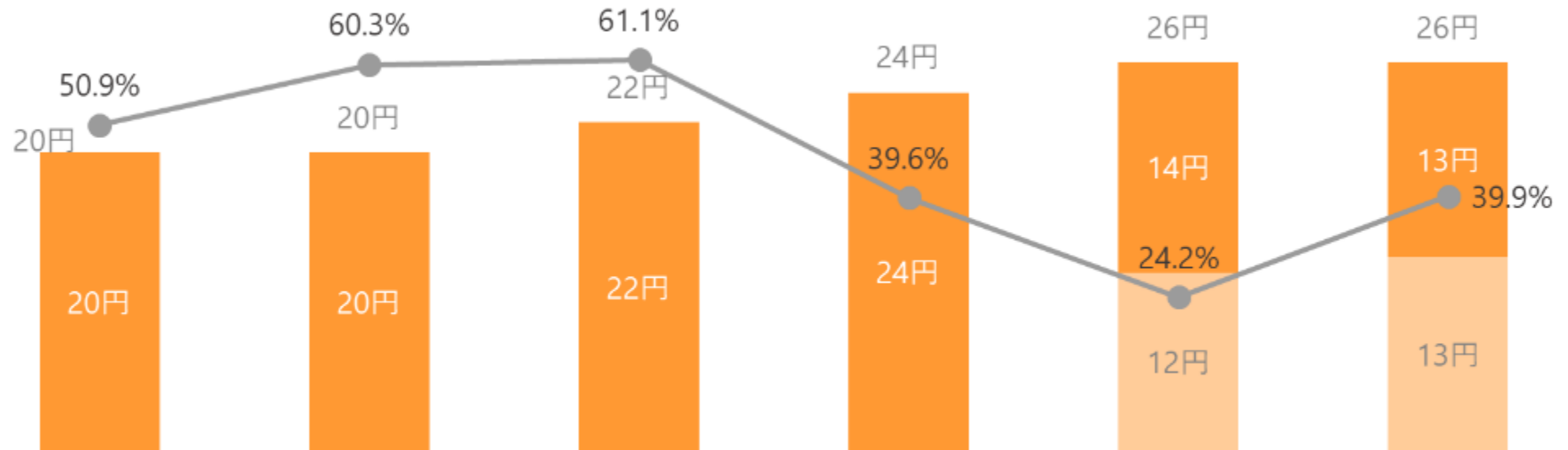


将来の経営基盤強化に向けた内部留保を図りつつ、安定的な配当を維持継続することを基本方針とする

一株当たり配当金及び配当性向の推移

■ 中間配当 ■ 期末配当 ● 配当性向

\* 2022年3月期より中間配当を実施



	18.3期	19.3期	20.3期	21.3期	22.3期	23.3期予想
年間配当	20円	20円	22円	24円	26円	26円
配当性向	50.9%	60.3%	61.1%	39.6%	24.2%	39.9%
EPS	39.3円	33.2円	36.0円	60.6円	107.5円	65.1円

この資料には、当社の現在の計画や業績見通しなどが含まれております。それら将来の計画や予想数値などは、入手可能な情報をもとに、当社が計画・予測したものであります。実際の業績などは、様々な条件・要素によりこの計画や予想数値とは異なる結果になることがあります。この資料はその実現を確約したり、保証するものではありません。

名糖産業株式会社 IR担当  
E-mail:IR@meito-sangyo.co.jp

参考資料

# セグメント別事業紹介 (22.3期実績)



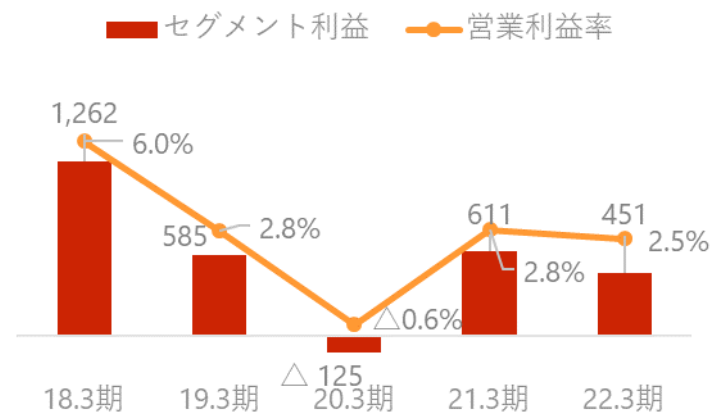
TVCMやSNSによる情報発信が奏功し、主力のチョコレート類は堅調に推移

売上推移 (百万円)



\* 21.3期までは収益認識基準前の数値

セグメント利益推移 (百万円)



売上詳細 (百万円)

	18.3期	19.3期	20.3期	21.3期	22.3期
菓子部門	15,722	15,693	15,157	15,698	13,477
粉末飲料部門	3,589	3,619	3,542	3,757	2,642
冷蔵部門	1,534	1,564	1,617	1,869	1,657
その他	125	179	197	258	298
合計	20,972	21,057	20,515	21,584	18,075

ビジネスフロー



大袋商品の代名詞アルファベットチョコレートをはじめ、数多くのヒット商品、豊富なラインナップを揃える

アルファベットチョコレート

- 世代を超えて喜ばれるロングセラー



アソートチョコレート

- 大袋商品第2の柱



エアインチョコレート



小物菓子



キャンディ類

- 100円ショップなど新たな販路を開拓



名糖オレンジドロップ

「名糖産業」を全国に知らしめた逸品



はなのど飴

業界の注目を集めたヒット商品



粉末飲料部門

- 日本初の粉末ジュース



スティックメイト

差別化戦略から生まれたヒット商品



### 冷蔵部門

- 1957年に竣工した福岡工場が始まった  
アイスクリーム生産

#### チョコボール

昭和時代から続くロングセラー商品



冷蔵の中でNo.1の売れ筋商品

#### ベレレ

21世紀のロングセラーを目指す



冷蔵の基幹商品

### 栄養食品部門

- 新たな食品分野として着目

#### おいしく健康応援チョコレート

砂糖不使用で「おいしさ」を追求



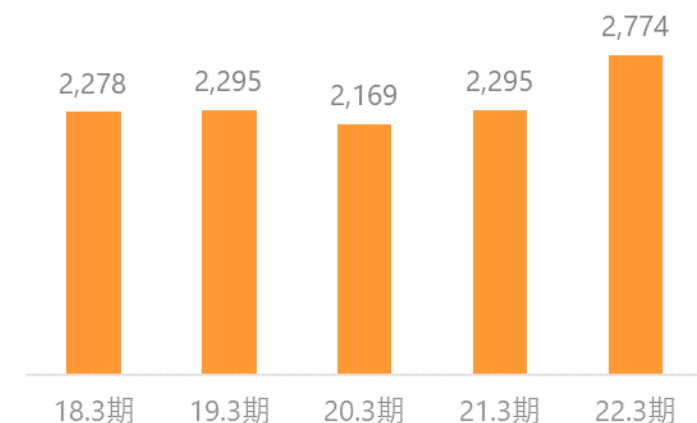
#### ウォーターメイト

高齢者の水分補給に最適な商品



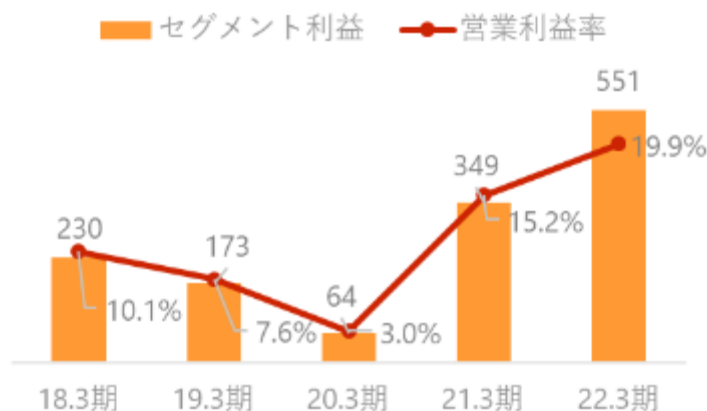
海外市場向けに好調なレンネットがけん引、デキストランも堅調に推移

売上推移 (百万円)



\* 21.3期までは収益認識基準前の数値

セグメント利益推移 (百万円)



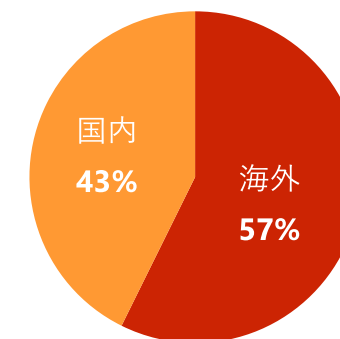
売上詳細 (百万円)

	18.3期	19.3期	20.3期	21.3期	22.3期
酵素部門	1,227	1,318	1,178	1,206	1,609
薬品部門	858	788	801	902	974
その他	191	188	188	186	190
合計	2,278	2,295	2,169	2,295	2,774
海外売上	1,328	1,280	1,178	1,269	1,590

ビジネスフロー



地域別売上構成 (22.3期)





発酵技術で生産する日本で唯一のメーカー

デキストラン

- 化成品事業の原点「代用血漿」
  - 「デキストラン」とは、砂糖（ショ糖）を原料に乳酸菌の一種が生み出す多糖類
  - 「代用血漿」は、循環血漿量の維持を目的として輸血の代わりに投与される輸液
  - 原薬、医薬品・食品添加物、化粧品、工業用途など幅広く展開
- 「デキストラン誘導体」の用途開発
  - 代用血漿以外の用途に向けた開発

化粧品添加物

成分の安定性向上と、滑らかで粘りのあるテクスチャーを作る

コンタクトレンズ

生体になじみやすいことから、ハードレンズの材料として使用



医薬品

高トリグリセリド血症（高中性脂肪血症）を抑える医薬品に使用

動物用医薬品  
（子豚貧血症剤）

子豚の発育促進に欠かせない動物薬として普及

デキストランマグネタイト

- 原薬・トレーサーなど医療分野での応用が期待
  - 「磁性」を持つ酸化鉄（マグネタイト）をデキストランでコーティング
  - 医療分野で2つの製品
- MRI用肝臓造影剤原薬
  - 鉄と糖類のみから構成されているため、一般的な造影剤に比べて安全性が高いことが特徴
- 乳がんセンチネルリンパ節生検用トレーサー
  - 一般に使用されている放射性同位体トレーサーに比べ安全



## レンネット

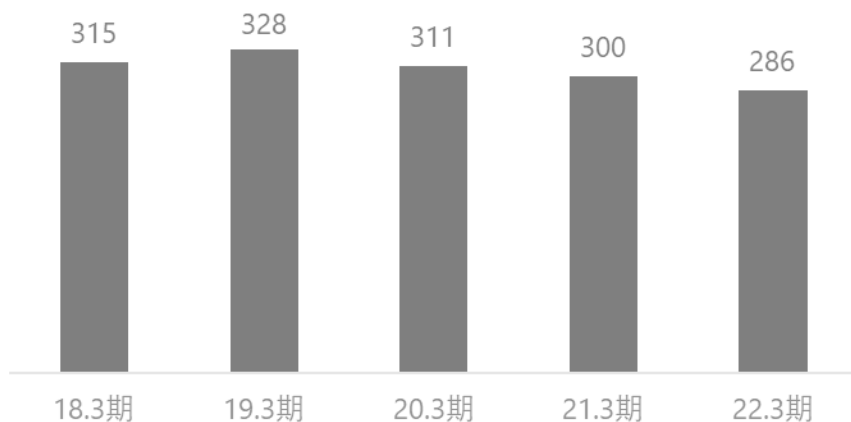
- 「産学協同研究」の新たな成果
  - 世界中のチーズ製造に欠かすことのできない凝乳酵素
  - 日本で唯一、当社が供給
  - 2001年には欧米の長期熟成チーズにも適した第二世代の微生物レンネットの販売を開始
  - 第三世代の微生物レンネット「MRS-LP」を開発、2011年から販売を開始



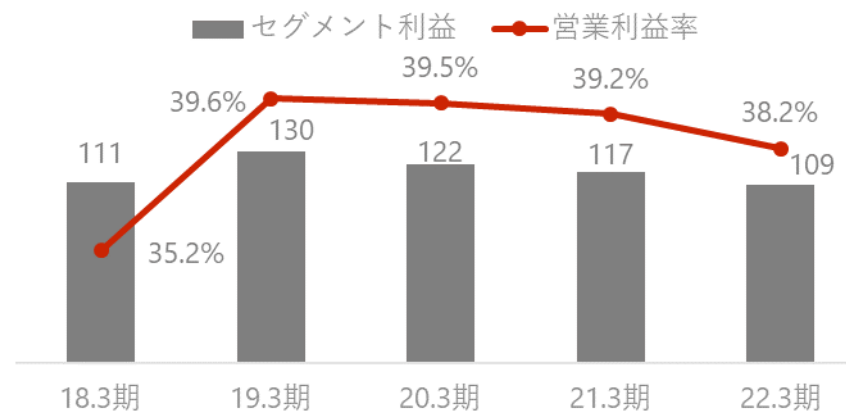
## リパーゼ

- 微生物によるリパーゼの工業生産
  - 脂質・コレステロール測定臨床試験薬や、乳脂を分解して得られるミルクフレーバーの製造などに国内外で利用される油脂分解酵素
  - バイオテクノロジー分野での多彩な利用法に可能性があり、さまざまなリパーゼ製品を開発
- リパーゼOF
  - リパーゼ製品の主力（世界で最も強力なリパーゼの一つ）
  - 工業的な脂肪酸製造、脂肪酸石鹼の製造、廃水処理などのほか、付加価値の高い化粧品素材の製造、魚油からのDHAの回収・濃縮などに利用
- ホスホリパーゼD
  - 主に米国向けのサプリメント（PS:ホスファチジルセリン）製造用途に利用
- リパーゼPL、QLM、TL
  - 食用油脂の改質、機能性油脂の製造、DHAやEPAの製造や、有機化合物（医薬・農薬や化粧品中間体）の合成などに利用

売上推移（百万円）



セグメント利益推移（百万円）



ゴルフ場（福岡県宮若市）



- フラットでフェアウェイの幅も広くのびのび打てる9ホールコース
- ティーを変えることにより18Hでのプレーを楽しむことが可能